

芦屋市自立支援協議会
令和6年度 専門部会 活動報告

芦屋市
自立支援
協議会

専門部会で作成しました



- #ライフステージ全体を可視化できるツール
- #切れ目のない支援をめざして
- #将来のためにどんな準備をしたらいいの？

ライフステージごとの制度や相談先などの情報が
わかりやすく集約されているツールを作成しました



■令和6年度芦屋市自立支援協議会 専門部会の取組内容■

テーマ

1. ライフステージ全体を可視化できる仕組みづくり
2. 情報がより普及・浸透するために、動画や画像など視覚情報を使うことで、イメージしやすく、気軽に「つながる」

取組内容

テーマに基づき、あしやねっと♪とのコラボや動画資料を取り入れ「障がいのある人の『現在地』がわかるライフステージフロー」を作成。2年にわたって編集を重ね、8ページの冊子が完成した。

■前回本会議から現在までの進捗■

第9回(1月9日)

- ・自立支援協議会 本会議での意見共有
- ・ツール最終稿の確認

第10回(2月26日)

- ・まるっと説明会での配布状況の報告
- ・ツールの用語集について意見集約
- ・配布先の確認
- ・ツールの評価方法について検討
- ・令和6年度専門部会振り返り

成果・実績

- ・シンプルでありながら、あしやねっと♪とQRコードの活用により、紙面に掲載しきれないの情報を盛り込むことができた。
また、双方の情報充実を図ることもできた。
- ・視覚的にわかりやすい動画資料も取り入れた。



今後の活用方法

- ・サポートファイル配布窓口で、補助的なツールとして一緒にお渡しする。
- ・子どもや障がい福祉の関係部署、芦屋特別支援学校等へ説明・依頼しお渡しする。
- ・市内の当事者・ご家族団体、病院、教育関係機関等、ツールに掲載している関係機関へ配布周知する。



ふり返し

- ・障がいのある人の親御様、障害福祉に関わる多くの機関が意見交換する機会になった。
- ・福祉だけでなく、教育や保健との協働・連携の場になった。



今後のツールの評価について

- ・令和10年度(3年後)に実務者会や自立支援協議会で議題に挙げ評価してもらってはどうか。
- ・座談会、目安箱のような形で運用後の意見が見えてくる可能性があるかもしれない。



2か年かけての取り組みをふり返って

- ・達成率…90%。
- ・計画に挙がっていた目的は達成できた。

新たな課題

- ・リアルタイムの情報発信が難しい。
- ・見やすい情報(動画等)について、十分に反映できたか評価が難しい。
- ・もっとこうしたい、という伸びしろがある。

専門部会メンバーの感想

自身の立ち位置がわかるツールができたと感じる。親にとっても先の見通しを考えやすい資料となった。ただ、リアルな情報交換はやはりその場に足を運んででないと得られないと感じている。今後効果測定しつつ、バージョンアップできるとさらに良いものができると感じている。

専門部会メンバーの感想

当事者にとってわかりやすいツール(視覚的にわかる、事例がある)を作成するということについても学ぶことができ、支援者としても学びの多い取り組みだった。当初は他の構成メンバーの話が分からなかったが、会議を重ねることで理解しながら協議し、ツール作成を進めていくことができた。近隣の必要としている保護者や機関へお渡ししていきたい。どのような活用状況や反応があったか等共有できればと思う。

専門部会メンバーの感想

QRコードや動画、あしやねっと♪の活用など、方法を探りながら紙だけではない様々な方法に出会えた。

初めに想像していたものよりもとても進化したと思う。

専門部会メンバーの感想

3年くらいであしやねっと♪もこのツールも見直しは必要だろう。医ケア児のツールも今回のツールの内容を活用し、同じ用語や表現を使うことで利用者に見やすいものになるのではないかな。
これもひとつの連携の形になると思う。取り組みを通して、構成員同士の熱量を感じた。リアルな交流を通じた情報共有の機会もあればいいなと思った。

■専門部会の皆さん■

